

# 4月 うらしまだより

=平成31年 4月号=

お子さまのご入園、ご進級おめでとうございます

園庭に咲く満開の桜が皆様の門出を祝っています。

さて、新入園のご家庭は、ならし保育にご協力をいただきましてありがとうございます。親御さんは、さぞかしご心配のことと思います。しかし、ならし保育を丁寧に行っていくことで、お子さんは少しずつ、確実に、新しい世界に慣れていきます。今少し、お時間をいただきたいと思います。まずは、一人一人のお子さんと園での親代わりである担任との信頼関係をしっかりと作っていきます。そうすることで「おうちとは違う場所だけれども安心できる所（浦島保育園は、もう一つのおうち）」と、お子さんなりに感じるようになるでしょう。そうすれば、好奇心旺盛な子どもは、色々なことに興味を持つようになります。乳児クラスのお子さんは、親御さん以外の人と関わったり、さまざまな遊びをする中で五感を刺激していきます。身近な者や物に関心を示すようになり、自分の世界を広げていきます。また、園生活の中でも、親御さんに代わり個々へのしつけを行っていきます。幼児クラスのお子さんは、個々へのしつけと同時に、徐々に社会性も身に付けていきます。個で遊びを体験したり、同年齢や異年齢の友達との関わりを持つ中で、お互いに助け合いながら、さまざまなことに挑戦していきます。

どの年齢にも共通して私達が大切にしていることは、一人一人の子どもが興味を示すことに没頭できる環境を作ることです。子どもは、私達大人の固定観念に邪魔されることなく、自分が興味を持つことに一生懸命になることができれば、満足感や達成感を得ることができるのです。すると子どもは、さらにその先に関心を示していくのです。このような経験を積み重ねることで、自信や自己肯定感が生まれてくるのです。また、年齢が上がるにつれ、友達と遊んだり協力しながら色々な体験をする中で、協調性、道徳性や忍耐力などの「**心の力**」を身に付けていきます。また、子どもは、大人から言われたことを行うだけではなく、徐々に自分で考え友達と助け合いながら時間を過ごすようになります。（そのような環境を作っていきます）そうすることで、生きる知恵を自ら学び展開していく「**学ぶ力**」を少しずつ身に付けていくのです。それから、毎日元気よく過ごすことができる体力「**体の力**」を付けていくことも大切です。子ども達は、敷地内にある安全な園庭で思い切り体を動かすことができます。ジュニア前の大きな公園で遊ぶこともあります。

ぜひ保護者の皆様には私どもの考え方をご理解いただきたく存じます。わが子と、そして浦島保育園の全員の子ども達を、皆様が同じ思いで「**あったか大家族**」として見守っていただきたく存じます。

今年度もご協力をいただきます様お願い申し上げます。

